

令和7年度 事業報告書

「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、生活衛生関係営業の経営の健全化を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の利益の擁護を図ることを目的として、次の事業を実施した。

1. 会議開催等事業

理事会等開催 [定款第5章、7章]

年月日	開催場所	種別	議案事項等
7. 5. 7	センター事務所	監査	令和6年度会計監査
7. 6. 2	ANAクラウンプラザ神戸	理事会	令和6年度事業報告・決算報告、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告、定例評議員会招集、役員任期満了次期選任候補者推薦、生衛経営セミナーに関する件
7. 6. 25	のじぎく会館	評議員会	議長選出、令和6年度事業報告・決算報告、任期満了に伴う評議員選任、任期満了に伴う理事及び監事選任、令和7年度事業計画・収支予算報告
8. 3. 25	兵庫県中央労働センター	理事会	令和8年度事業計画・予算、資金調達及び設備投資の見込み、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況

2. 関係行政機関・関係団体等連絡調整事業

(1) 関係行政機関並びに関係団体等との連絡調整を図った。[定款第4条7号]

- ・ 新任経営指導員研修 (ZOOM:令和7年4月16日、5月28日、6月11日、6月25日)
- ・ 都道府県センター事務局代表者会議 (令和7年4月24日)
- ・ 新任経営指導員研修 (全国衛生会館:令和7年5月14日～16日)
- ・ 近畿ブロック指導センター会議 (和歌山市:令和7年10月9日～10日)
- ・ 都道府県センター事務担当者会議 (全国衛生会館:令和7年11月6日～7日)
- ・ 生衛業経営セミナー(ラッセホール:令和7年11月11日)
- ・ 都道府県センター経営指導員研修会 (ZOOM:令和8年2月20日)
- ・ 都道府県センター理事長会議 (令和8年3月18日)

(2) 生活衛生関係営業に係る情報の収集につとめ、資料の提供を行った。[定款第4条5号]

3. 相談指導事業

生衛業の衛生水準の維持向上、経営の安定を図ることにより、消費者の利益擁護を推進することを目的として相談指導の実施体制を充実するとともに、日本公庫と連携して貸付制度の効果的な活用を促進した。

(1) 相談室運営事業

① 生活衛生営業相談室設置要綱に基づき相談室を設置し、融資、税務等の窓口相談並びに指導を行った。〔定款第4条1号〕【公1】

業種	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	合計
理容	10		4	4	4	46	24	92
クリーニング	5		2	2	4	60	30	103
美容	86	1	41	41	41	94	70	374
旅館	12		5	5	5	23	13	63
浴場	12	1	5	7	11	57	34	127
興行			1		1	9	5	16
鮭商	9		4	4	4	62	31	114
社交	4	1	1	1	1	32	17	57
麺類	22		13	13	13	69	40	170
食肉	4		1	1	1	31	16	54
喫茶	6		3	3	3	11	7	33
料理						14	7	21
飲食	192	1	88	87	88	155	127	738
食鳥肉	7					17	10	34
中華	9	1	6	6	6	36	22	86
氷雪						4	4	8
合計	378	5	174	174	182	720	457	2,090

*利用者・消費者の苦情等処理に対する指導を行った。〔定款第4条2号〕

指導件数 9件（美容5、クリーニング3、飲食1）

② 相談指導顧問設置事業〔定款第4条1号〕【公1】

相談指導顧問設置要綱に基づき相談指導業務の充実強化を図るため専門的知識を有する者を相談指導顧問として配置し、原則として月1回の無料法律相談を実施した。

（神戸市1回、姫路市2回）

相談件数 4件（飲食業）

(2) 地区相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

地区生活衛生営業相談指導事業実施要綱に基づき地域の実情に応じた相談指導を行うため、地区生活衛生営業相談室を開設した。

実施日 令和8年3月5日 場所 日本政策金融公庫豊岡支店会議室

対象業種	相談件数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理容	1				1	1	1	4
麺類				1	1	2	2	6
飲食	3	1	2	3	2	3	2	16
合計	4	1	2	4	4	6	5	26

(3) 巡回相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

営業所等を巡回し、経営指導員による相談指導を実施した。

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	1				2	2	2	7
クリーニング				3	4	6	6	19
美 容	4		1	13	14	14	14	60
旅 館	1			1	2	2	2	8
浴 場	2			6	8	8	8	32
興 行	1		1	3	3	7	7	22
鮭 商	2		1	2	4	6	6	21
社 交	2				1	1	1	5
麵 類	6		4	9	10	15	15	59
食 肉					1	1	1	3
喫 茶	2		2	4	5	5	5	23
料 理	1			1	2	3	3	10
飲 食	4		3	10	15	17	17	66
食鳥肉	2			2	4	6	6	20
中 華	4		1	8	11	18	18	60
水 雪	2			4	5	5	5	21
合 計	34	0	13	66	91	116	116	436

(4) 生活衛生関係営業経営改善資金融資等指導事業【公1・他1】

- ① 生活衛生関係営業経営改善資金融資制度に基づき生活衛生関係営業の経営の健全化を促進するため、相談指導を行うと共に関係機関との連携強化を図った。〔定款第4条1号、7号〕

融資申込・相談件数 16件 (クリーニング1件、鮭商1件、麺類食堂業4件、飲食業9件、中華料理業1件)

- ② 生活衛生営業経営特別相談員の新任養成に必要な講習会を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開催場所	出席人員	内 容
8. 1. 29	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	7人	「特別相談員の役割について」 兵庫県生活衛生営業指導センター 常務理事兼事務局長 源田健 「生活衛生営業経営改善貸付の取扱について」 ㈱日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三課長 丹羽智哉 「確定申告のきほん～青色申告での申告や消費税のしくみまで」 佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「衛生法規について」 兵庫県保健医療部生活衛生課環境衛生班長 森本和徳

- ③ 生活衛生同業組合職員との連絡会議を開催した。〔定款第4条5号、6号〕

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7. 9. 19	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	17人	指導センター事業について

4. 情報化整備事業〔定款第4条1号、5号〕【公1・他1】

生衛業情報化整備事業実施要領に基づき、全国センターと都道府県指導センターをネットワーク化し、適切かつ効率的な経営相談、指導等業務に活用した。

生衛業情報ネットワークシステムの維持管理を行うとともに、ホームページを常に見直して情報を適宜更新して新たな情報を生衛業者、消費者に提供した。

更新回数 18回 指導センターホームページへのアクセス件数 6,316件

5. 後継者育成支援事業〔定款第4条1号、4号、6号〕【公1】

(1) 後継者育成打合せ会議開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.5.20	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	6人	令和6年度後継者育成支援事業実施報告 令和7年度後継者育成支援事業の検討(実施要領) その他

(2) インターンシップ事業の実施

① 理美容師インターンシップ事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.8.19	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	27人	講師：木村 力 (株)ヒロ銀座理容師 ステージ上でモデルに講師の理容師がカット、セットを施術する様子を、参加者はステージを取り巻き見学した。その後、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行った。
7.8.19	姫路理容美容専門学校 (姫路市)	23人	講師：下村 尚 (ニューヨーク・ニューヨーク) モデル(4人)に講師の美容師がカット、セットを施術する様子を、参加者は周りから見学した。見学に先立っては、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行っている。
7.8.25	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	29人	関 恵祐 (Paps de coiffeur 美容師) ステージ上でモデル(2人)に講師の美容師がカット、セットを施術する様子を、参加者はステージを取り巻き見学した。その後、参加者は一人ずつウィッグを使い、カットやセットについて体験学習を行った。
7.11.12	県立神出学園 (神戸市西区)	8人	講師：吉田和成 (姫路理容美容専門学校講師・理容師) 吉田講師より、理容師、美容師の免許取得方法、業務内容、体験学習の概要についての説明が行われた。次に、カットをするときのハサミや櫛の取扱い方、カットの手技の説明とデモンストレーションを受けたあと、ウィッグを使ったカットやセットについての体験学習が行われた。全員積極的に実技に取組み、充実した体験学習が行われ、理容師、美容師への興味を深めることができた。

② 魅力の蕎麦打ち技術の体験

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.10.29	県立但馬農業高等学校 (養父市八鹿町)	31人 生徒 (みのりと食科)	講師：箱崎孝治理事長、池藤嘉信、片野光詞、岩本正彦 実習として、箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを行い、続いて8班（4人／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。
7.11.17	県立有馬高等学校 (三田市)	14人 生徒 (総合学科)	講師：箱崎孝治理事長、片野光詞、山下則子 箱崎理事長が蕎麦打ちのデモンストレーションを見せながら、調理技術、衛生教育、蕎麦についての講義を行った。続いて、4班（3～4人／班）に分かれて、各講師の指導の下、本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実技体験したあと、自分たちが打った蕎麦を試食した。

6. 健康・福祉対策推進事業 [定款第4条4号] 【公1】

(1) 感染症対策事業

《感染症拡大防止チラシの周知と消毒薬の配布》

令和5年に新型コロナウイルス感染症は5類へと移行したが、今後も起こりうる新興感染症の発生や食中毒事故等の予防・対策として、新規営業者に対し、基本である手指消毒の徹底についてチラシを用いて周知を行い、かつ消毒薬を配布することにより、営業施設の衛生水準の確保・向上を図った。

① 配布時期 令和7年4月～令和8年3月

② 配布数 120個

(2) HACCP研修会の開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.11.27	西宮市民会館 (西宮市)	7人	「HACCPに沿った衛生管理について」 講師 西宮市保健所 生活衛生課 係長 細川 勉 「飲食店における HACCP の考え方を取り入れた衛生管理」 講師 (株)ティーズフードコンサルタント 代表取締役 高柳 竜雄

7. 消費者コールセンター事業 [定款第4条1号、4号、5号] 【公1】

(1) 消費者コールセンター事業検討会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.7.1	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	23人	苦情状況の現状把握のため、各行政機関、生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合及び県立消費生活総合センターの担当者を招集しそれぞれへの苦情等について情報交換を行う「消費者コールセンター事業検討会議」を開催した。

(2) 地域別消費者相談会

年月日	開催場所	出席人員	内容
7.6.18	赤穂市民会館・中央公民館(赤穂市)	延べ77人	一般消費者に対して、「食」を通して日々の健康を考えていただくためのセミナーを開催した。赤穂市消費者協会が主催する「生活講座」の一貫として実施。 講師 兵庫県保健医療部生活衛生課 食品安全官 坂江 博

8. 分野調整等協議会等事業 [定款第4条1号] 【他2】

分野調整事業協議会設置要領に基づき零細企業である生活衛生関係営業の健全な発展を図り、進出大企業との紛争等を的確に把握し、当事者間の自主的調整の促進等を円滑に実施するため協議会を設置し、分野調整全般にわたって調査検討を要する場合に協議会を開催する。

なお、現在検討課題がないため中止し、問題が発生した場合に再開することとしている。

9. 兵庫県受託事業 [定款第4条1号、5号] 【公1】

兵庫県知事から委託を受け、(株)日本政策金融公庫生活衛生融資の一般貸付に係る推せん事務を実施した。

推せん件数 137件

(飲食店営業80件、喫茶店営業3件、食肉1件、理容業5件、美容業40件、旅館ホテル5件、公衆浴場業2件、クリーニング1件)

10. 標準営業約款登録事業 [定款第4条3号] 【公2】

(1) 標準営業約款登録の促進

利用者の選択の利便性を高めるため、標準営業約款登録を促進した。

業種	区分	登録件数			期末登録件数
		8月1日	2月1日	合計	
クリーニング業	クリーニング(新)	7件	5件	12件	78件
	〃(再)	9件	1件	9件	
	取次所(新)	1件	1件	1件	2件
	〃(再)	1件	1件	1件	
理容業	(新)	1件	4件	4件	404件
	(再)	1件	69件	69件	
美容業	(新)	1件	1件	1件	172件
	(再)	3件	7件	10件	
めん類飲食店営業	(新)	1件	1件	1件	2件
	(再)	1件	1件	1件	
一般飲食店営業	(新)	1件	1件	1件	10件
	(再)	3件	2件	5件	
審査委員会	開催日	7.7.15	8.1.15	—	—
	出席人員	6人	6人	—	—

(2) 約款PR事業

名 称 等	発行部数等	時 期	備 考
メモ帳	1, 500冊	10～11月	(全国センターより助成あり)

11. クリーニング師研修等受託事業〔定款第4条1号、4号〕【公3】

兵庫県知事より指定を受けた(公財)全国生活衛生営業指導センターと委託契約を締結し、クリーニング師研修並びにクリーニング業務従事者講習事業を実施した。

(1) クリーニング師研修

年月日	開 催 場 所	出席人員	備 考
7. 7. 10	西宮市民会館 (西宮市)	44人	
7. 8. 7	加古川市民会館 (加古川市)	45人	
7. 9. 28	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	45人	
合計	3回開催	134人	

(2) クリーニング業務従事者講習

年月日	開 催 場 所	出席人員	備 考
7. 7. 18	豊岡市民会館 (豊岡市)	38人	
7. 7. 24	姫路市市民会館 (姫路市)	31人	
7. 8. 21	西宮市民会館 (西宮市)	55人	
7. 9. 2	加古川市民会館 (加古川市)	37人	
7. 10. 7	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	49人	
合計	5回開催	210人	

(3) 第2型クリーニング業務従事者講習

年月日	講 習 方 法	出席人員	備 考
7. 12. 24	通 信 制	8人	
合計	1回開催	8人	

(4) 打合せ会開催

年月日	開 催 場 所	出席人員	内 容
7. 5. 13	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	15人	・今年度開催計画の概要 ・令和6年度までの受講状況 ・研修・従事者講習の受講指導の徹底について ・第13クール(2025～2027年度)用テキストについて

*全国センター主催のクリーニング師研修等受講促進会議に参加した。(ZOOM:令和7年6月5日)

12. 生活衛生営業振興事業〔定款第4条1号、2号、4号、5号、6号、7号〕【公4】【他3】

公益財団法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的として定めた「生活衛生営業衛生水準向上・活性化事業実施要綱」に基づき、公衆衛生の向上を目的とした事業、地域社会の健全な発展を目的とした事業、一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とした公益事業等を組合と共同又は単独事業として実施した。

(1) 共同事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.4～8.3			<p>[全料飲]</p> <p>目的 兵庫県で組織する7の飲食業関係の組合が、食を通じて地域社会の公衆衛生の向上を図ることにより、一般消費者の安心できるくらしの実現に寄与した。</p> <p>[旅館ホテル生活衛生同業組合]</p> <p>内容 旅館ホテルにおける人手不足が深刻化する今、外国人採用の円滑化を目的とし、先進的な取り組みをされている施設の担当者と、労務・経理専門家を招いて実践的勉強会を実施するとともに、旅館ホテル業界におけるハラスメント問題についての実例を交えた講義及び意見交換も実施した。</p>
(7.12. 2)	ホテル クレール日笠 (姫路市)	参加施設 10施設	<p>「旅館・ホテルのための外国人採用講座」</p> <p>講師 菅原真太郎 (ホテルプラザオーサカ専務取締役) 白井信雄 (社会保険労務士) 濱本尚人 (税理士)</p>
(8. 3.18)	ほてる ISAGO神戸 (神戸市)	10人	<p>「旅館・ホテル業者向けハラスメント防止研修」</p> <p>講師 オフィスえん 岩井裕美 (社会保険労務士)</p>
(7.11. 4)	神戸市中央卸売市場 (神戸本場) 料理教室 (神戸市中央区)	29人 (一般消費者)	<p>[鮭商生活衛生同業組合]</p> <p>内容 伝統的な鮭文化に対する興味や関心を深め、また職人とのふれあいを通じて各地域に根差す寿司店を親しく身近に感じてもらい、公衆衛生に対する意識を高めてもらうため、板前・寿司職人の実演による料理教室の形式で日本の食文化の一つとしての「すし」を体験する講習を行った。</p> <p>講師 貝塚一夫、山中勉、大本佳克、増田健輔、谷口稔、山口昭二、奥谷康弘、岡本博幸、上瀬戸圭</p> <p>講師補助 三木喜代江</p>
(8. 3.20)	赤穂市立野外活動センター (赤穂市)		<p>[社交飲食業生活衛生同業組合]</p> <p>内容 一般の人々にお酒の中身・種類や製法技術の紹介と簡素な食材を使った「おつまみ」や「酒の料理」などの専門家による実演・試食・試飲を行うとともに、露店営業においての喫煙・防火の知識講習を併せて行った。</p> <p>「簡素な食材のできるお酒のおつまみ料理と、喫煙・防火の知識講習」</p>

年月日	開催場所	出席人員	内容
(7.11～ 12.31)	兵庫県内の組合員 36店舗		<p>講師 木村義久 (日本バーテンダー協会関西本部長 SAVO YK I T A N O Z A K A 経営) 湯川覚 ((有)割烹料理いずも亭経営)</p> <p>[麺類食堂業生活衛生同業組合] 内容 物価高騰や外食需要の低迷が続く中で、年末に向けた需要喚起と一般消費者への感謝の気持ちを表すことを目的とし、「年末お客様感謝祭」を開催した。 具体的には、抽選で当たる商品券を用意し、参加店ではポスターの掲示、チラシの配布でキャンペーンを告知。本キャンペーンを通じて、組合加盟店の集客促進、および飲食業界全体のイメージ向上を図り、地域経済への波及効果に寄与した。 「年末お客様感謝祭」</p>
(7.10.25)	日本調理製菓専門学校 調理校イベントホール (姫路市)	<p>第1部 専門学校生徒 (32人)</p> <p>第2部 親子ペア 13組 (大人16人 子供19人)</p>	<p>[料理業生活衛生同業組合] 内容 和食材の最新情報の提供と、料理長の高度な技術と知識を披露し、若き後継者の技術意識向上に繋げ、一般消費者の関心も高める目的をもって食育教育を開催した。 第1部は調理製菓専門学校生徒の希望者、第2部は食育を意識し、一般の親子ペアを対象に、専門の講師による出汁昆布・鰹節についての講義と、当組合員による調理実習と実食で、日本古来の出汁の魅力を、年齢に関係なく体験いただいた。 「食育教室一本物の出汁ってこんなに美味しいー」 講師 辰己仁章 ((株)辰己食品 社長) 調理実演 川飛有司 (料亭 川飛 四代目オーナー 兼料理人)</p>
(7.11.16)	西脇市市民交流施設オリナス駐車場 (西脇市)	<p>参加人数 200人 試食 200食</p>	<p>[飲食業生活衛生同業組合] 内容 一般消費者を対象に北播磨の地元食材を活用したレシピコンテストを行い、地産地消による地域社会の健全な発展を図ることを目的とした事業を開催。 ハレの日の伝統的料理、“すき焼き”をテーマとした令和6年度西脇市主催くにしわきレシピコンテストで、応募総数247作品の中から最優秀賞に選ばれた作品である、『たまごまるごとすき焼きまん』を組合員店舗協力のもと再現し、一般参加者に試食していただいた。 このほか、レシピコンテスト受賞作品のお披露目、および地域食材活用についての啓発、次回レシピコンテスト開催のテーマ、“カレー”についての告知を行った。 講師 西脇ロイヤルホテル 料理長 青山 哲</p>

年月日	開催場所	出席人員	内容
(8. 2. 25)	中華料理 斗里 (神戸市中央区)	参加者 一般 消費者見学 8人 試食 25人	[中華料理業生活衛生同業組合] 内容 一般消費者を対象にして中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を指導、実演・試食会を行って消費者に新たな中華料理を紹介したほか、併せて講習会を実施し、薬膳、医食同源といった中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進し、消費者利益と公衆衛生の向上に寄与した。 講師 中華料理 斗里 料理人 当日のメニュー ①大根とミンチの湯葉巻き焼き ②ピリ辛マトンレッグのオープン焼き ③ナマコの醤油煮込み ④枸杞の実と棗が入ったキノコとすっぽんのスープ ⑤しゅうまいの皮で包んだバナナの包み揚げ
8. 1～3			(理容生活衛生同業組合) 目的 公衆衛生の向上、地域社会の健全な発展、一般消費者の利益の擁護又は増進を図るため、兵庫県理容生活衛生同業組合40支部の各地域で理容業を営む営業者並びに若手技術者を対象として、各部門研修会を開催し、衛生消毒の普及啓発を行うとともに技術の向上のための研修会を実施した。 内容 理容業は、人の身体の一部である毛髪及び皮膚に接して施術を行うサービス業であり、利用者だけでなく、従事者の安全のためにも、正しい衛生知識と万全な消毒体制での営業が求められていることから、県下40支部から若手技術者を中心に受講者を募集して各部門別に研修会を開催し、技術の向上を図るとともに衛生管理と消毒の徹底指導を実施した。
(8. 3. 9)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	15人	講師 周 成榮、小林義和、田中泰平、西関 誠 上垣裕一、松原智哉、吉田隆昭
(8. 3. 23)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	17人	講師 周 成榮、小林義和、田中泰平、西関 誠 上垣裕一、松原智哉、吉田隆昭
7. 4～3			(クリーニング生活衛生同業組合) 目的 クリーニング営業者並びに一般消費者を対象にして、クリーニング事故を未然に防ぐには何が必要か。また、衣類の洗濯表示基準が改正されたことに伴う知識等、消費者が安心して利用できるよう、情報を提供した。
(7. 10. 8)	三宮センタープラザ西館 (神戸市中央区)	19人	内容 クラブの指導育成において欠かせない人づくり・チームづくり・組織づくり。 日頃より大切にしているポイントについて、講師自らの経験談を交えながら、互いに助け合

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(8. 3.11)	三宮センタープラザ西館 (神戸市中央区)	37人	<p>えるような組織づくりのノウハウを分かりやすく解説した。</p> <p>「人づくり・チームづくり・組織づくり」 講師 大津直人 ((一社)Meister 理事 FC BASARA HYOGO ジェネラルマネージャー)</p> <p>ウェット洗いの洗剤の種類及び使い方の説明や、染み抜きの手順及びしみの種類による薬品の説明、そして事故品の基本的な直し方を通して、クリーニングにおける基礎化学の習得の手順を説明した。</p> <p>「ウェット洗いの技術、染み抜き技術、事故品の修正技術」 講師 松井喜教 (松井化学(株) 代表取締役)</p>
(8. 3.29)	三宮センタープラザ西館会議室 (神戸市中央区)	32人	<p>決算書を読み取り、有効に活用するためのポイントについて、損益計算書と貸借対照表の違いや役割、繋がりを実践形式で分かりやすく解説した。</p> <p>「決算書の読み方」 講師 荻田員成 (株)SWALLOW JAPAN 代表取締役)</p>
7.4~8.2			<p>(美容業生活衛生同業組合)</p> <p>目的 美容業の事業の活性化と衛生水準の向上、一般消費者の利益の増進を目的として、高度な技術や知識・情報を有する専門講師を招聘して、県下の美容業者を対象とした講習会を実施し、衛生水準や美容技術の向上を図った。</p> <p>内容 衛生水準の維持・向上、生活衛生同業組合の意義、役員の意識改革等を目的として高度な知識を有した講師を招聘して研修会を開催した。</p> <p>講師 北海道美容業生活衛生同業組合 理事長代理 岸谷義人 副理事長 大野博繁</p> <p>組合員及び組合未加入者を対象とし、美容所の衛生水準の維持・向上を図るため保健所職員を講師に迎え、衛生講習会を開催した。通常美容所としての衛生管理に加え、感染症に対する消毒法や注意点の指導も受けた。</p>
(7. 8.2)	兵庫区文化センター (神戸市兵庫区)	50人	講師 神戸市生活衛生課
(7. 9.8)	兵庫区文化センター (神戸市兵庫区)	32人	講師 姫路市保健所衛生課
(7. 9.22)	姫路じばさんビル (姫路市)	21人	講師 宝塚健康福祉事務所
(7.12.1)	宝塚商工会議所 (宝塚市)	20人	
(7.10.27)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	20人	<p>事前に組合員全員にテキストを無料で配布し希望する者には成人式など実生活に役立つヘアと着付けの実技講習会を開催した。</p> <p>講師 (ヘア)岡村珠美 (着付)深瀬恭子、井上りり子</p>

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.6～8.3 (8.3.19)		14人 (12施設)	<p>(旅館ホテル生活衛生同業組合)</p> <p>目的 旅館業の継続した運営を図るべく、課題解決のため勉強会を開催し、DX化の導入について先進的取組みを実施している施設の担当者から実践的な知識を共有する場をもち、知見を深めた。</p> <p>内容 旅館・ホテルのDX導入事例(人出不足対策中心)研修</p> <p>講師 大西伸弥(大西屋水翔宛 社長)、 中島丈裕(神鍋ハイランドホテル 社長) 丸山宗慈(佳泉郷 井つつや 社長) 當谷三郎(有馬・元湯 龍泉閣 専務) 岩田一紀(有馬ロイヤルホテル 社長) 佳泉郷 井つつや(美方郡温泉町)</p>
7.4～12 (7.10.10)	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	30人	<p>(公衆浴場業生活衛生同業組合)</p> <p>目的 「銭湯もデジタル経営の時代？」と題して銭湯の立場からSNS等を活用したデジタル経営を論じていただき公衆浴場事業者のみならず一般の方々にも参考になるような内容で開催した。</p> <p>内容 SNS等(インスタグラム、エックス、フェイスブック等)の情報発信で口コミを増やし、商品紹介の物販で単価アップし、またスマホ決済での経営効率化、デジタルスタンプカード等でお客様へのサービス向上等を銭湯経営の立場から講演していただいた。</p> <p>「銭湯もデジタル経営の時代？」</p> <p>講師 ADU(株)代表 宇田名保美(中小企業診断士)</p>
7.4～8.2 (8.2.17)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	39人 (学園生・職員・保護者)	<p>(館商生活衛生同業組合)</p> <p>目的 板前鮎職人とのふれあいを通じて、一般消費者に伝統的な寿司文化と寿司の魅力について知ってもらい、各家庭の食卓が一層楽しく豊かなものとなるよう働きかけるとともに、地産地消や公衆衛生に関する意識が向上することを目的に、地産の食材を使用し、衛生的な調理を意識した板前鮎職人の実演指導による握り寿司の体験教室を開催した。</p> <p>内容 板前鮎職人による握り寿司の体験教室、試食</p> <p>講師 貝塚一夫、山中勉、増田健輔、山口昭二 石原清和、奥谷康弘、上瀬戸 圭</p> <p>補助 三木事務員</p>
7.11～12			<p>(社交飲食業生活衛生同業組合)</p> <p>目的 飲食店営業(社交飲食)の衛生水準の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的に、一般消費者を対象にして、専門家であるバーテンダーや調理人が、簡素な食材を使った料理の衛生的な調理を実践・指導しながら酒やおつまみの提供を行った。</p>

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(7. 12. 14)	赤穂城跡 (赤穂市)	延べ50～ 60人	内容 日曜日ということもあり大勢の人出を予想していたが、毎年振舞っていた牡蠣が7割以上死滅、その上、天気予報が雨の為出店を辞退された場所でも出店することとなり、2か所での開催に至った。懸念された雨も早朝からあがり晴天となったが、予想より人出は少なかった。その中で地元の市民及び他県からの客の関心を誘い専門家である調理人及びバーテンダーが、簡単に出来るお酒のおつまみの衛生的な調理方法を指導、実演し、各種の酒と一緒に提供した。 指導講師 木村義久 (日本バーテンダ協会関西本部長・SAVOY KITANOZAKA 経営) 湯川 覚 (割烹料理 いずも亭経営)
7. 4～12			(麺類食堂業生活衛生同業組合) 目的 「そばは元気な健康食」と言われるように、安全安心な食品であるお蕎麦の魅力を広く県民にアピールし、地域社会の健全な発展と消費者サービスの向上に寄与することを目的に、一般消費者対象にした「手打ちそば講習会」を実施した。 内容 「手打ちそば講習会」 講師 箱崎孝治、片野光詞、山下則子、大迫有紀 他組合員 2名 「手打ちそば講習会」 講師 箱崎孝治、渡部結花、鶴谷純子 他組合員 2名
(7. 11. 26)	赤穂市立中央公民館 (赤穂市)	31人	
(7. 12. 3)	兵庫県立西播磨文化会館 (龍野市)	25人	
7. 7～8. 1			(食肉生活衛生同業組合) 目的 食肉衛生知識の普及促進、食育の推進を図り、公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的として、一般消費者を対象に、家畜の生産から食肉の処理加工、消費に至る生産・流通過程における衛生対策や地域の食肉文化等についての講習を行った。 内容 「お肉の調理実習・試食」 講師の先生から、お肉を使った調理の実技を受講するとともにテーブルマナーや体に良い食事の方法、薬膳を使った調理方法などについて説明を受けた。また、出来上がった料理を試食した。 講師 レストランこの木 オーナー 宮地由美子 「お肉の衛生管理 安全・安心の取り組み」 「お肉が食卓まで届くまで」のDVDを見た後に、食肉の衛生管理と流通過程でお肉が安全に管理され食卓まで届くのか、またトレーサ
(7. 11. 27)	米田地域交流センター／調理室 (高砂市)	22人	

年月日	開催場所	出席人員	内容
			<p>ビリティ法による管理方法などスライドを使用して講義を聞き学習した。</p> <p>講師 兵庫県食肉衛生検査センター安全対策課 検査第2課 松尾志穂子</p> <p>「行政・業界・調理講師・消費者との意見交換」講義を振り返り、質疑応答の中で食肉の衛生管理や公衆衛生の知識を深め、食肉の安全・安心のための普及啓発を図った。</p> <p>「アンケートの記載及び集約」</p> <p>次年度の事業計画や事業内容に反映させることを目的として実施した。</p>
7.6~10 (7.10.10)	神戸たん熊 (神戸市中央区)	36人	<p>(料理業生活衛生同業組合)</p> <p>目的 地産地消による生産者と消費者の関わりを伝えることによってお互いの利益増進に寄与する。又、地産地消は地元で食物などを消費することで運搬によって発生するCO2の削減に繋がりSDGsにおいても大きな意味があることを伝えた。</p> <p>内容 「地元食材の新しい活用法」をテーマとした神戸産の野菜と水産物の進化や調理方法、また、「スポットワークの活用の法的留意点」、米穀流通業者による「最近のコメ事情」についての講習会を開催した。組合員はじめ、多くの一般消費者の方々にも参加をして頂き、講習後は質疑応答を含めたディスカッションも行った。</p> <p>講師 「スポットワークの活用の法的留意点」 社会保険労務士法人 Sign Post 田中宏昌 「最近のコメ事情」 株式会社米太郎 田中正晴</p>
7.8~10 (7.9.24)	西脇ロイヤルホテル (西脇市)	21人	<p>(飲食業生活衛生同業組合)</p> <p>目的 一般消費者を対象に料理教室を開催し、食育や衛生管理についての講習を行うとともに北播磨の食材を紹介・活用することで、地産地消の推進、衛生水準の向上を図った。</p> <p>内容 家庭でも再現しやすいように、ローストビーフ作りの極意をわかりやすく説明し、火の通り加減を均等にするための肉の厚さの整え方や、肉表面の殺菌、さらには中心温度が75℃になるまで加熱するなど、本格的な調理工程を丁寧に指導した。最後に出来上がったローストビーフをカットして、特製のローストビーフ丼に盛付け試食を行った。</p> <p>参加者からは、「こんなに簡単に美味しくできるとは」などと好評であった。</p> <p>「西脇ローストビーフを使った料理教室」</p> <p>講師 青山 哲 (西脇ロイヤルホテル 料理長)</p>

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7.11～8.3			(中華料理業生活衛生同業組合) 目的 薬膳、医食同源などの中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進して消費者利益の擁護と公衆衛生の向上に寄与することを目的として、一般消費者を対象に中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を実演・指導し、試食を行うとともに、中華料理の歴史や新たな中華料理を紹介するなどの講習会を実施した。
(8. 2. 9)	おおつか (神戸市中央区)	実演23人 見学4人 試食27人	講師 大塚浩太・助手 耿 凜太郎
(8. 3. 5)	群愛飯店本店 (神戸市中央区)	実演18人 見学11人 試食29人	講師 施 蓮華・助手 施 家恵

(2) 企画運営委員会の開催

生活衛生営業振興事業を適正かつ円滑に推進するために、「企画運営委員会」を設置し、事業計画の企画運営にかかる審査及び助言することにより、生活衛生営業の振興を図った。

年月日	開催場所	出席人員	会 議 内 容
7. 5. 23	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	8人	令和6年度生活衛生営業振興事業の報告
8. 2. 3	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	13人	令和7年度生活衛生営業振興事業の計画

13. 全国生活衛生営業指導センター受託事業〔定款第4条1号、5号〕

(公財)全国生活衛生営業指導センターの委託を受けて次の事業を実施した。

(1) 景気動向等調査【他4】

生衛業界の景気動向、設備投資動向等を定期的に把握するとともに、生衛業者の景況感や地域実情等を定性的な把握に努め、日本公庫の今後の業務運営に資した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麵	肉	喫	料	飲	鳥	中	氷	計
1回目	5	7	7	2	6	1	6	4	7	4	1	2	8	2	3	1	66
2回目	5	7	7	2	6	1	7	4	7	3	1	1	8	3	4	1	67
3回目	5	7	7	2	6	1	7	4	7	4	1	2	8	3	4	1	69
4回目	5	7	6	2	6	1	7	3	7	4	1	2	8	3	4	1	67
合計	20	28	27	8	24	4	27	15	28	15	4	7	32	11	15	4	269

(2) 経営状況調査【他4】

生衛業の経営状況を把握するため訪問調査等を実施した。調査結果は(公財)全国生活衛生営業指導センターにおいて今後の経営指導方針に活用され、また情報を公開した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮨	社	麵	肉	喫	料	飲	鳥	中	計
1回目	6	7	6	2	6	1	7	4	7	4	1	2	8	1	3	65
2回目	6	7	6	2	5	1	8	4	7	3	1	1	8	2	4	65
3回目	5	7	6	3	5	1	8	4	7	4	1	2	8	2	4	67
4回目	5	7	5	3	6	1	8	3	7	4	1	2	8	2	4	66
合計	22	28	23	10	22	4	31	15	28	15	4	7	32	7	15	263

1回目については、併せて特別調査を実施した。

(3) 生衛業受動喫煙防止対策事業【法】

「健康増進法の一部を改正する法律」の趣旨に鑑み、生活衛生関係業者がその事業場において実施する望まない受動喫煙の防止を図るうえで講ずるべき措置を支援するための生衛業者への受動喫煙防止対策を推進した。

14. 全国生活衛生営業指導センター事業協力（全国センター経費負担）

(1) 経営特別相談員指導事業〔定款第4条1号、4号〕【公1】

経営特別相談員の経営指導上に必要な知識の充実と資質の向上を図るため次の研修会を開催した。

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7. 10. 14	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	38人	「特相員の活動と、衛経貸付の活用等について」 指導センター経営指導員 古川隆三 「生活衛生貸付の現状と衛経推薦状の留意点」 日本政策金融公庫神戸支店（国民生活事業） 融資第三課長丹羽 智哉 「生衛業におけるカスタマーハラスメント対策について」 友久法律事務所 弁護士 友久 康弘 「生衛業における補助金の活用について」 久保井中小企業診断士事務所 中小企業診断士 久保井篤史

(2) 衛生水準の確保・向上事業〔定款第4条1号、5号〕【他3】

① 衛生水準の確保・向上推進会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
7. 9. 16	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	22人	第1回会議 ・推進会議開催の主旨について ・令和7度行動計画について ・公庫融資の状況等

8. 2. 10	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	24人	第2回会議 ・令和7年度事業報告 ・生活衛生関係営業施設に関する報告 ・生活衛生同業組合に関するアンケート調査 ・公庫融資の状況等
----------	-------------------------	-----	---

② 広報・啓発事業 令和7年9月～令和8年2月

- * 全国センター作成の「一般啓発チラシ」及び「生衛組合加入勧奨チラシ」等を、各生衛組合、各行政機関及び公庫等に配布し、各機関において広報、啓発活動を行った。
- * 名簿を作成し、県下の令和6年度新規開業店舗に対し、上記の資料等を活用し、組合加入勧奨のダイレクトメールを実施した。3,268件
- * 県指導センターホームページを活用した広報活動を実施した。

③ 新規営業許可届出施設等の情報の入手 令和7年7月～9月

- * 令和6年度分の新規営業許可業者名簿(5,000件)を入手し、業種別の3,268件に整理した。
- * 同名簿を組合加入勧奨の基礎資料として、県下の生衛組合に情報提供した

④ 衛生水準の確保・向上事業担当者会議への出席

開催日	令和7年6月18日	ZOOM会議
開催日	令和7年6月24日	ZOOM会議
開催日	令和7年7月8日	場所 全国生衛会館(東京都港区)

(3) 生活衛生関係営業経営支援緊急対策事業〔定款第4条1号、5号、6号〕【公1】

生衛業者からの幅広い相談等にワンストップで対応する伴走型の支援を行う専門相談窓口の開設等や情報提供及び支援ニーズの把握等を通じ、事業継続や経営再建に取り組む生衛業者及び生衛業界を早期に再生軌道に導く緊急支援を実施した。

期間 令和7年4月～12月

相談・指導対応件数	33件
チラシ作成配布	8,000枚